



平成28年1月27日

各 位

会社名 太洋工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 細江美則
 (JASDAQ・コード: 6663)

問合せ先
 役職・氏名 取締役管理本部長 阪口豊彦
 電 話 073-431-6311

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成27年1月30日付当社「平成26年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において発表しました平成27年12月期(平成26年12月21日～平成27年12月20日)の業績予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成27年12月期 通期連結業績予想の修正等

	売上高	営業損益	経常損益	当期純損益	1株当たり 当期純損益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	4,768	107	100	38	6.57
今回修正 (B)	4,753	22	42	12	2.20
増減額 (B-A)	△15	△85	△57	△25	—
増減率 (%)	△0.3	△79.3	△57.1	△66.5	—
ご参考：前期実績 (平成26年12月期)	4,031	△80	57	21	3.74

2. 平成27年12月期 通期個別業績予想の修正等

	売上高	営業損益	経常損益	当期純損益	1株当たり 当期純損益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	4,501	67	97	50	8.61
今回修正 (B)	4,426	△36	18	7	1.31
増減額 (B-A)	△74	△104	△79	△42	—
増減率 (%)	△1.7	—	△81.3	△84.8	—
ご参考：前期実績 (平成26年12月期)	3,781	△66	41	10	1.72

3. 修正理由

通期連結業績予想については、主として、その他の事業セグメントに含まれていた産機システム事業において液晶モジュール検査システムの販売が計画以上に推移したものの、電子基板事業においてカメラメーカー及びディスプレイメーカー向けの売上が計画どおり進捗しなかったこと等から、売上高は概ね計画どおりとなる見込みであります。損益については、電子基板事業において量産製品や高難度製品の受注に伴い売上高外注加工費率及び売上高材料費率が想定以上に上昇したこと、並びに売上高が当初予想を下回ったことに伴う売上総利益の減少等の影響により、営業損益及び経常損益は当初予想を下回る見込みであります。当期純損益は投資有価証券売却益12百万円を特別利益に計上したものの、前述の理由により当初予想を下回る見込みであります。

通期個別業績予想については、概ね通期連結業績予想と同様の理由により、当初予想と比較して売上高は下回り、営業損益は悪化、経常損益及び当期純損益は下回る見込みであります。

4. 平成27年12月期配当予想

期末配当金については、平成27年1月30日付当社「平成26年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」からの変更はなく、期末に普通配当として1株当たり3円00銭の配当（年間配当金3円00銭）を行う予定であります。なお、本件については、平成28年3月17日開催予定の第55期定時株主総会に付議する予定であります。

※本業績予想等については、現時点で入手可能な情報及び合理的と考える一定の前提に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等の様々な要因により、予想数値と大きく異なる可能性があります。

以上